



10月号 令和7年10月6日発行

一中だより



編集・発行 / 武蔵村山市立第一中学校 〒208-0004 武蔵村山市本町2-76-1 TEL 042-560-1761

貴重な体験活動を

校長 森元 隆之

名月を取ってくれろと泣く子かな 小林 一茶

「秋の月」は昔から日本人の心に根つき、「春の花」「冬の雪」と並んで、季節を表す言葉として和歌や俳句に数多く用いられてきました。「名月」とは、旧暦の八月十五日(新暦九月十五日)の晩に出る月を意味し、いわゆる「中秋の名月」と呼ばれるものです。

～背中に背負われた幼い我が子が、十五夜の月を指し「とってちょうだい」とねだり、泣いているよ。～

このときの「名月」をどうしても手にしたかった幼子が、一茶の背中でジタバタしながら泣く姿を容易に想像できる句です。こんなにも幼子を魅了した「名月」、今年は10月6日の20時頃、東京では南東の方向に輝くようです。ちなみに、校長は修学旅行一日目で3年生と京都にいる予定。しばし、鴨川の川縁まで足を運ぶ時間を作ろうかしら…。

さて、10月は、3年生修学旅行(6日～8日)を始め、1年生川越校外学習(21日)、2年生都内校外学習(28日)、I組宿泊学習(30日～31日)が実施されます。実際の「名月」を見て心を奪われた幼子のように、一中学生も現地に赴いて、実物を見て驚きや感動を抱き、新しい吸収や発見をしてほしいと思います。また、この体験活動の中では、トラブルやミスも出るはずですが、それがあから、校外の活動は貴重なのです。列車の遅延、急な天候の変化、班行動中の体調不良…、緊急事態が発生したときこそ、冷静で的確な判断が求められます。公共の場でコミュニケーションをとり、対処していくことが大切です。そのような経験は、学校生活や次の行事に生

かされることはもちろん、卒業後の人生にも活用できるはずですが、みなさんの貴重な体験活動が成功しますように。



校外学習の約束事「SSS」

Study・Smiley・Safety

「まっ赤だな まっ赤だな 彼岸花って まっ赤だな…」

第一中学校 駐車場脇